

地域計画

策定年月日	令和6年4月1日
更新年月日	令和-年-月-日 (第-回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	羽島市 (212091)
地域名 (地域内農業集落名)	小熊町地域 ()

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	136.0 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	136.0 ha
② 田の面積	133.1 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	2.9 ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

小熊町地域は、農振農用地面積の約98%を水田が占める地域であり、水稲作が盛んである。地域の中央部には集団的な水田地帯があり、複数の水田の担い手農業者により水稲作が営まれている状況である。水田の大部分が担い手農業者により担われており、比較的農用地の集積は進んでいる地域だが、今後、農用地を集約化することによる効率化を模索していく余地は十分に残されている。ただし、用排水を分離するなどの基盤整備が整っていないことから、作業の効率化等の面で課題があり、農地の集約化の障壁にもなっている。また、地域の北部は岐阜市に面していることもあり、市外からの入作者も一定数存在するようである。
畑地については、集団化されておらず、畑地の担い手が少ないこともあり、農地の集積は進んでいない。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

水田における農用地の集積・集約化を進め、効率的な営農を可能にすることで、持続的な農用地利用と地域農業の振興を模索していく。
主食用水稲を中心とした作付けから非主食用米など需要のある作物への転換を推進する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地バンクへの貸付けを進めつつ、担い手農業者(認定農業者等)への農地の集積・集約化を基本とするが、農業を担う者の持続的な農地利用を支援する。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率*	46.6%	%	将来の目標とする集積率
			78 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
地域の担い手農業者等による農地のゾーニングに関する協議を行い、協議が整った部分について随時目標地図を更新し、それに基づく農用地の集団化(集約化)を推進する。			

*特定農作業受委託契約による集積は含めずに算出

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとすべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
地域内に存在する複数の担い手農業者(認定農業者等)への農用地の集積及び集約化を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
目標地図に基づき、農地中間管理機構を活用した利用権設定による農用地の集積及び集約化を進めていく。目標地図上に特定の受け手が位置付けられていない場合は、隣接する農地を耕作する担い手が存在する場合は、まず当該担い手と協議を行うものとする。その他の場合は周辺農用地の営農状況等を勘察し、農用地の利用集積・集約に資する等地域農業の発展に資する程度により優先順位をつけた上で、順次協議するものとする。
(3)基盤整備事業への取組
再ほ場整備などの基盤整備を含む土地改良事業等を推進し、農業生産基盤の強化に努める。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
個人経営体の法人化等の取り組みを推進していく。新規就農希望者に対しては、地域の状況について情報提供を行ったうえで、営農計画との適合性を鑑みながら、就農に向けた支援を行う。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
-

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ②環境へ配慮した栽培技術を推進する。
- ③スマート農業への転換を推進するなど、農業経営の合理化や生産性の向上を図る。
- ⑨飼料用米を生産し、耕畜連携(わら利用、資源循環)による安定的な生産と利用体制の構築を図る。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和15年度)				
		経営作目等	経営面積 **	作業受託 面積	経営作目等	経営面積 **	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
利用者	A	水稻	6.5 ha	0 ha	水稻	6.5 ha	0 ha	A	
認農	B	水稻	35.3 ha	0 ha	水稻	35.3 ha	0 ha	B	
認農	C	水稻	3.4 ha	0 ha	水稻	3.4 ha	0 ha	C	
認農	D	水稻	0.4 ha	0 ha	水稻	0.4 ha	0 ha	D	
認農	E	水稻	11.3 ha	0 ha	水稻	11.3 ha	0 ha	E	
認農	F	水稻	0.6 ha	0 ha	水稻	0.6 ha	0 ha	F	
認農	G	水稻、小麦、 露地野菜	5.9 ha	0 ha	水稻、小麦、 露地野菜	5.9 ha	0 ha	G	
計	7経営体		63.4 ha	0 ha		63.4 ha	0 ha		

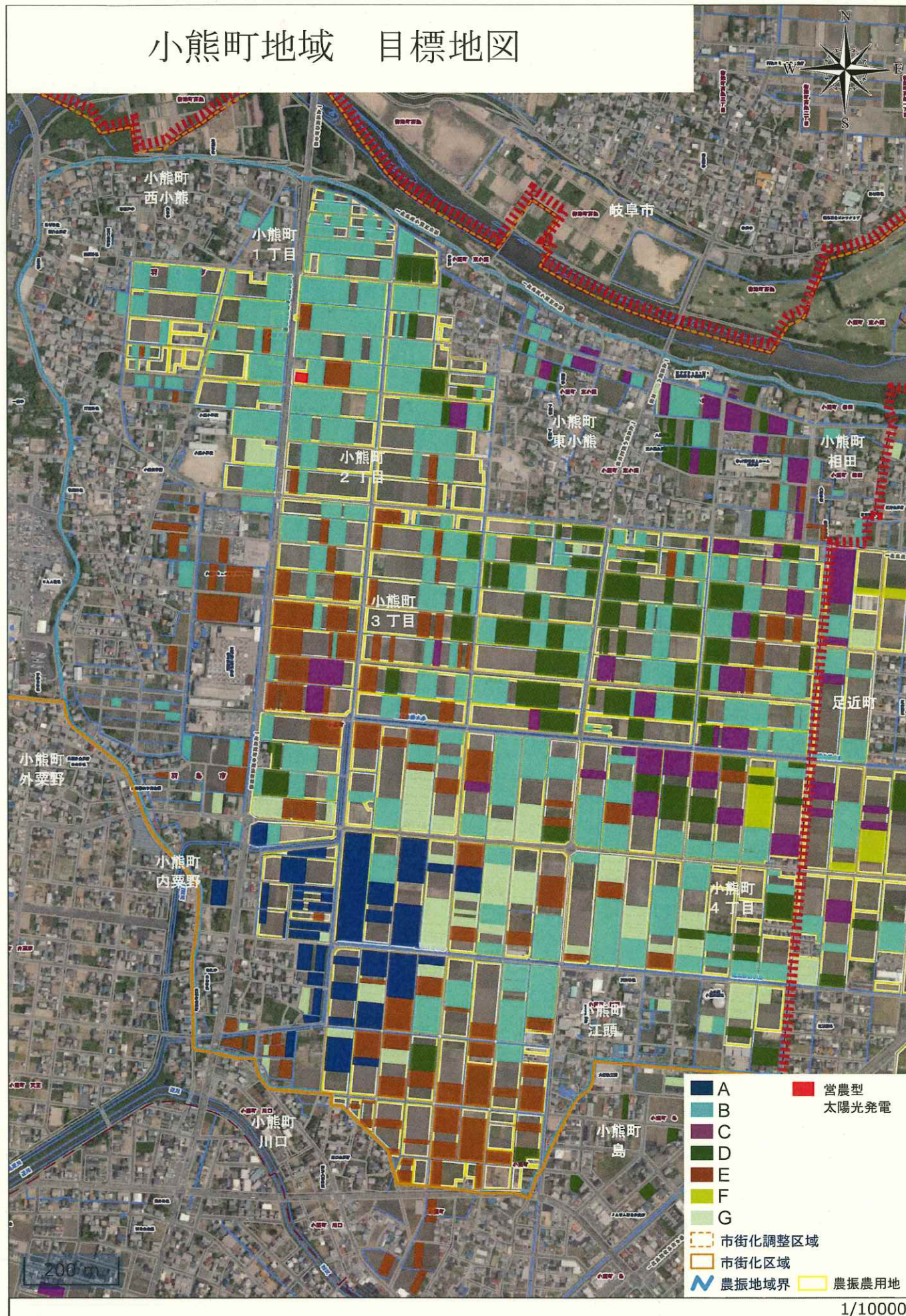
**経営面積には特定農作業受委託契約による耕作面積は含まない。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
-	-	-	-

6 目標地図(別添のとおり)

小熊町地域 目標地図



※目標地図の対象範囲は小熊町地内の農振農用地とする。